



HOSPITALITY

SATISFACTION

PARTNERSHIP

INNOVATION

TASK

LIFE

病院・診療所のみなさまへ

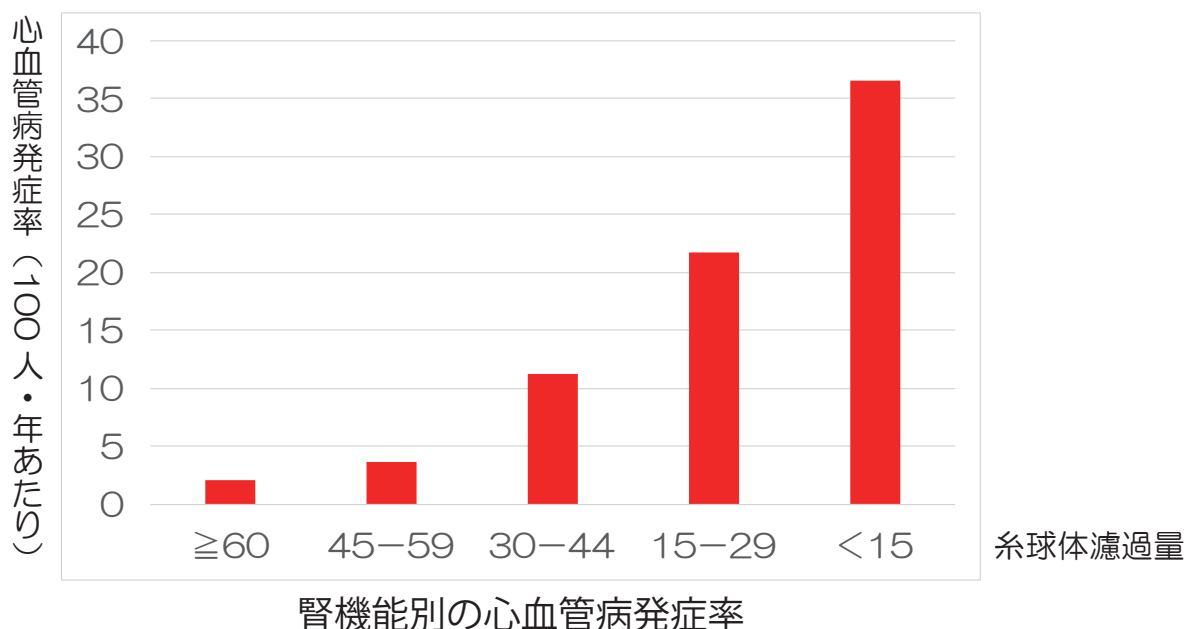
城陽江尻病院だより 2019年 10月号

病院・診療所のみなさまへ

いつも当院をご利用くださり、誠にありがとうございます。日増しに秋の深まりを感じる季節となりましたが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。2017年9月より内容・デザインを一新した『城陽江尻病院だより』ですが、2019年10月号ができあがりましたのでご高覧いただけますと幸いです。今号の特集は、「慢性腎臓病の患者さまを診ておられる、かかりつけ医の先生方へ」と「インシデントレポート提出の啓蒙活動～医療安全に対する意識向上を目指して～」となっております。ぜひご一読ください。

慢性腎臓病の患者さまを診ておられる、かかりつけ医の先生方へ

慢性腎臓病（Chronic kidney disease、以下 CKD）は、健康な人と比べて、脳卒中や心筋梗塞といった心血管イベントのリスクが約3倍になると言われています。しかし、早いタイミングで適切な食事指導や禁煙指導、投薬を行っていくことで、心血管イベントを減らすことができるほか、CKDの進行を遅らせることもできます。また、CKDが進行すると人工透析が必要な状態になっていきますが、あまりにぎりぎりの状態、すなわち肺水腫で呼吸困難などになってから慌てて人工透析を行うことになりますと、内シャントがないためにブラッドアクセスカテーテルを留置して使用することになります。カテーテルの使用は、感染からの敗血症や中心静脈血栓症、狭窄、不安定な血行動態による心不全などのリスクがあり、前もって内シャントを作っておいた場合と比べて、死亡率や合併症が増加します。

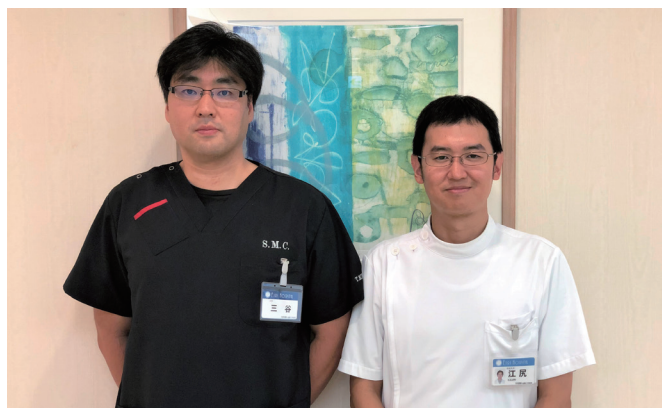


一方、世界の中で健康的な国、長寿の国と言われている日本ですが、透析患者さまの割合は台湾に次ぐ第2位であり、世界有数の透析大国と言えます。具体的には380人に1人が人工透析を受けており、人工透析にかかっている医療費は年間1兆6000億円と言われています。

CKD に対して早いタイミングで適切な対応を行っていくことは、患者さまの健康寿命を延ばし、医療費も削減すると考えられます。もし CKD と診断した患者さまがおられましたら、なるべく早い段階で当院にご紹介くだされば幸いです。当院では、全身の動脈硬化の評価を行いつつ、患者さまの年齢やライフスタイルに応じた治療方針を検討し、適切な食事指導や禁煙指導、投薬の調整を行うことで、患者さまの健康寿命を延ばすようにしています。そして、CKD が進行しましたら、肺水腫や尿毒症が起こる前の、全身状態がまだ安定している段階で内シャントを作っておくことで、透析導入が安全に進むよう心掛けております。



当院で長年 CKD 診療を行っている医師
(左から村上由起子、江尻一成、平野浄子)



2019 年 5 月に赴任した腎臓内科専門医
の三谷知之医師と、下肢の血流評価や
フットケアを担当する江尻浩隆医師

インシデントレポート提出の啓蒙活動 ～医療安全に対する意識向上を目指して～

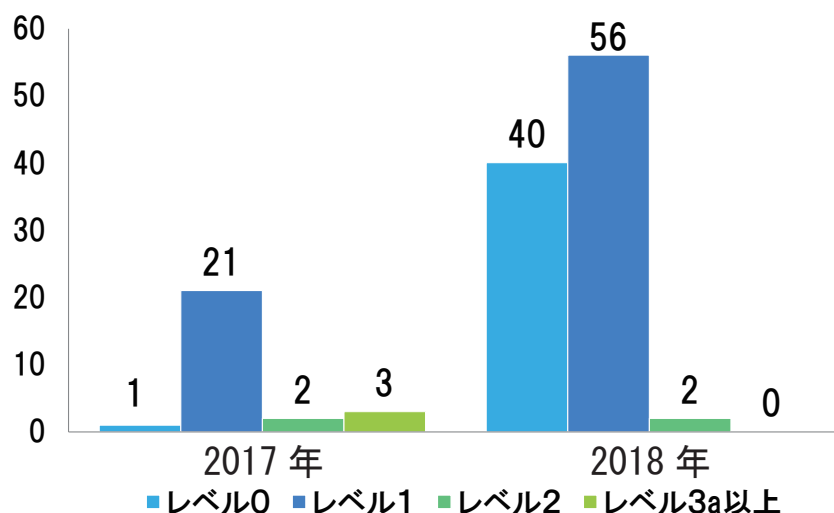
「1つの重大事故の背景には、29の軽微な事故があり、その背景には300の異常が存在する」というハインリッヒの法則から、病院でもインシデントに注目することの大切さが唱えられてからかなりの月日経ちました。しかしながら、2017年5月～8月の間、当院の3病棟のうち1つの病棟から提出されたインシデントレポートの内訳が、全体の件数が27件であったのに対して、ハインリッヒの法則の「異常」にあたるレベル0は1件のみという結果でした。そこで、医療安全に対する病棟の意識向上を図るべく、啓蒙活動を行いました。

対象は上記の該当病棟看護師19名で、実施期間は2019年5月～8月としました。実施内容は、

- ① レベル0に対する意識調査（活動の実施前と後に施行）
- ② 口頭と張り紙での呼びかけ活動
- ③ レベル0の具体例の貼り出し
- ④ 毎月、インシデントの内容を発表し、カンファレンスで情報共有
- ⑤ 毎月、レベル0のインシデントレポートを一番多く提出したスタッフにささやかな贈り物とメッセージカードを渡す

以上としました。

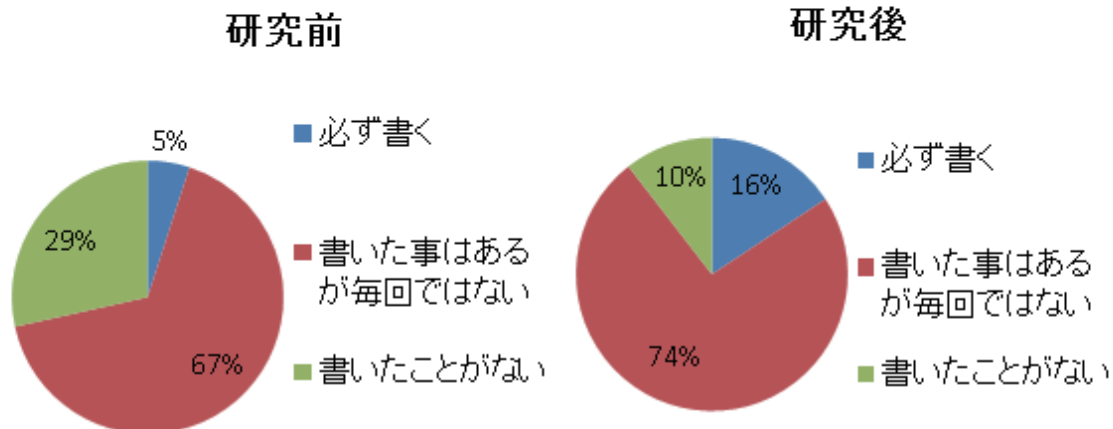
インシデントレポートの提出状況の結果を示します。



2017年と比べて、2018年はレベル0とレベル1が明らかに増え、レベル2は横ばい、レベル3a以上は0件に減りました。

意識調査の結果の一部を示します。

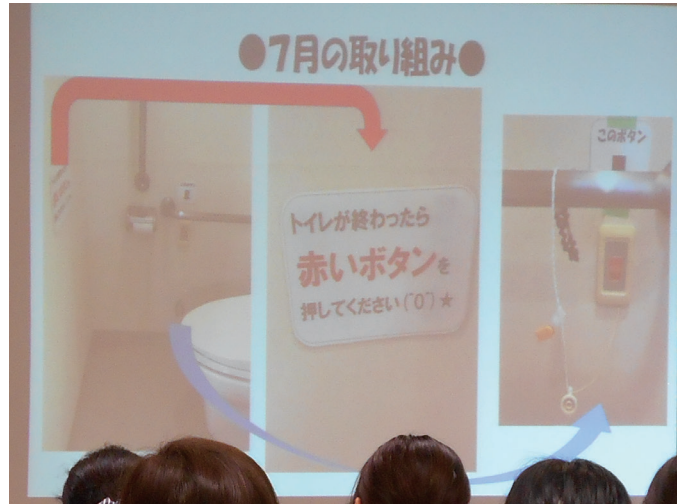
質問「レベル0のインシデントレポートを毎回書いていますか？」



活動の実施前と比べて、実施後はレベル0のレポートを「必ず書く」「書いたことはある」という人が増え、「書いたことがない」という人が減りました。

今回の啓蒙活動は内容が多岐にわたっており、なおかつ濃密でした。このことが良い結果を生んだ一番の要因と思われますが、特に、提出されたインシデントの内容を発表したり、贈り物とメッセージカードを渡したりという「レポートを出すことに対するポジティブなイメージ」を作ったことが奏功したのではないかと考えています。大切なのは継続することですので、今後も調査と対策を続けていきたいと思っています。

安全対策全体研修



2019年8月16日、今年度1回目の安全対策全体研修を開催しました。内容は、アナフィラキシーショックについての講義と、当院の安全対策委員会のワーキンググループ活動についての報告でした。「誤認・誤薬」「認知症ケア」のワーキンググループの取り組みについて、職員全体に周知することができました。

全館停電点検および電気設備の更新



2019年10月17日、全館停電点検および電気設備の更新を行いました。停電中の緊急事態に備え、医師や看護師は病棟などで待機しました（左写真）。電気設備の更新は、関西電力様、きんでん様による大規模なものとなりました（右写真）。安心、安全な医療を常に提供できるよう、今後も努力してまいります。

患者さまのご予約方法

入院・転院のご依頼
外来診療のご依頼
上部・下部消化管内視鏡のご依頼

➡ 079-225-1231（地域連携課）にお電話ください。
担当医と調整の上、予約を入れさせていただきます。

CT・MRI・超音波・骨密度・サーモグラフィー・マンモグラフィーのご依頼

➡ 079-225-1231（放射線課）にお電話ください。

※ 受付時間は 8:30 ～ 19:00 となっております（日曜、祝日を除く）。

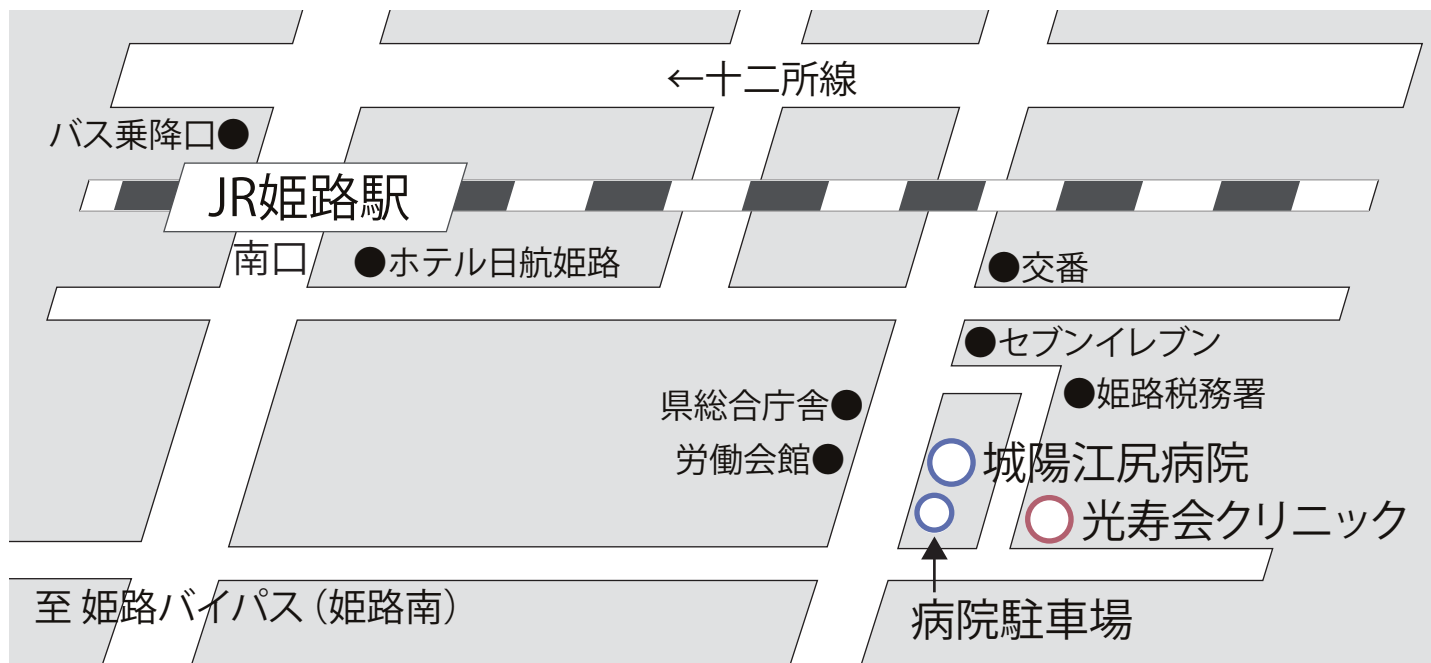
※ そのほかのお問い合わせは 079-225-1231（地域連携課）にお電話ください。

ご予約後の流れ

患者さまに、以下のものをご持参いただくようお願いください。

貴院からの診療情報提供書（紹介状）
（CT・MRI をご依頼の場合は所見用紙）
健康保険証
当院受診歴のある方は、当院の診察券
（必要に応じて）貴院での血液検査結果、投薬情報

患者さまに、来院当日は1階総合受付にお越しいただくようお願いください。
スタッフがご案内いたします。



EJIRI HOSPITAL
城陽江尻病院

〒670-0947 兵庫県姫路市北条1丁目279

ホームページ：www.ejirihospital.or.jp代

表 Tel：079-225-1231

Fax：079-222-0154